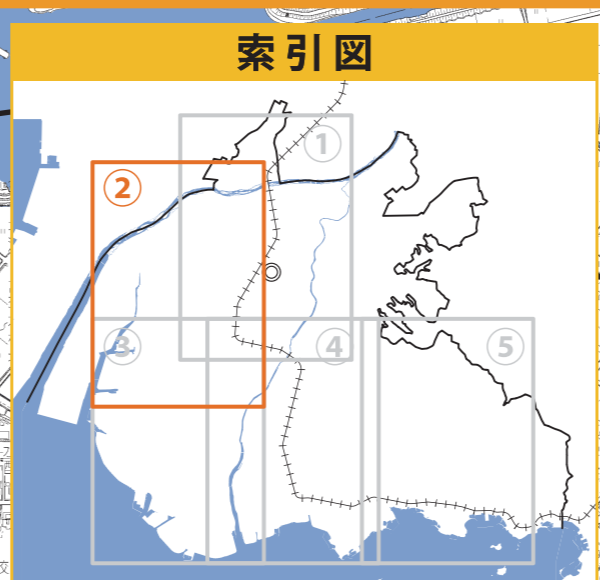


内水ハザードマップ

②中畑・平坂・寺津・矢田地区

発行：西尾市 上下水道部下水道整備課 TEL：0563-65-2192 危機管理課危機管理課 TEL：0563-65-2137
発行年月：令和4年3月

索引図



内水氾濫想定の基本条件(解析条件)

- ◆対象区域は、下水道計画区域(主に市街化区域と市街化区域に流入する区域)です。
- ◆浸水は、1000年に1回程度降るおそれのある雨(想定最大規模降雨)にて想定しています。これは、1時間に最大147mm(10分間に最大31mm)に相当する雨です。
※降雨は、「浸水想定(洪水、内水)の作成のための想定最大外力の設定手法」(平成27年7月国土交通省)に基づいて設定しています。
- ◆一級河川及び二級河川の洪水(外水氾濫)は考慮していません。
- ◆想定される浸水が実際と異なる場合があります。
- ◆着色されていなくても浸水する可能性があります。

このマップについて

浸水被害は、その原因によって二種類に分類されます。ひとつは、破壊するなど川の水が原因で発生する外水(洪水)氾濫による浸水被害です。もうひとつは、川へ流れ込む水路に排水能力以上の雨が降ったり、排水先の川の水が満水のために排水できなかつたりして水路からあふれることによって発生する内水氾濫による浸水被害です。

このマップは、後者の「内水氾濫による浸水被害」を想定したマップです。想定される最大規模の降雨(1000年に1回程度)を想定したもので、コンピューター解析によって求められた浸水想定区域(範囲)とその浸水深(深さ)を表したものです。

外水(洪水)氾濫概念図



台風や大雨等によって川の水が堤防からあふれたり、堤防が決壊したりすることによって発生する浸水のことです。

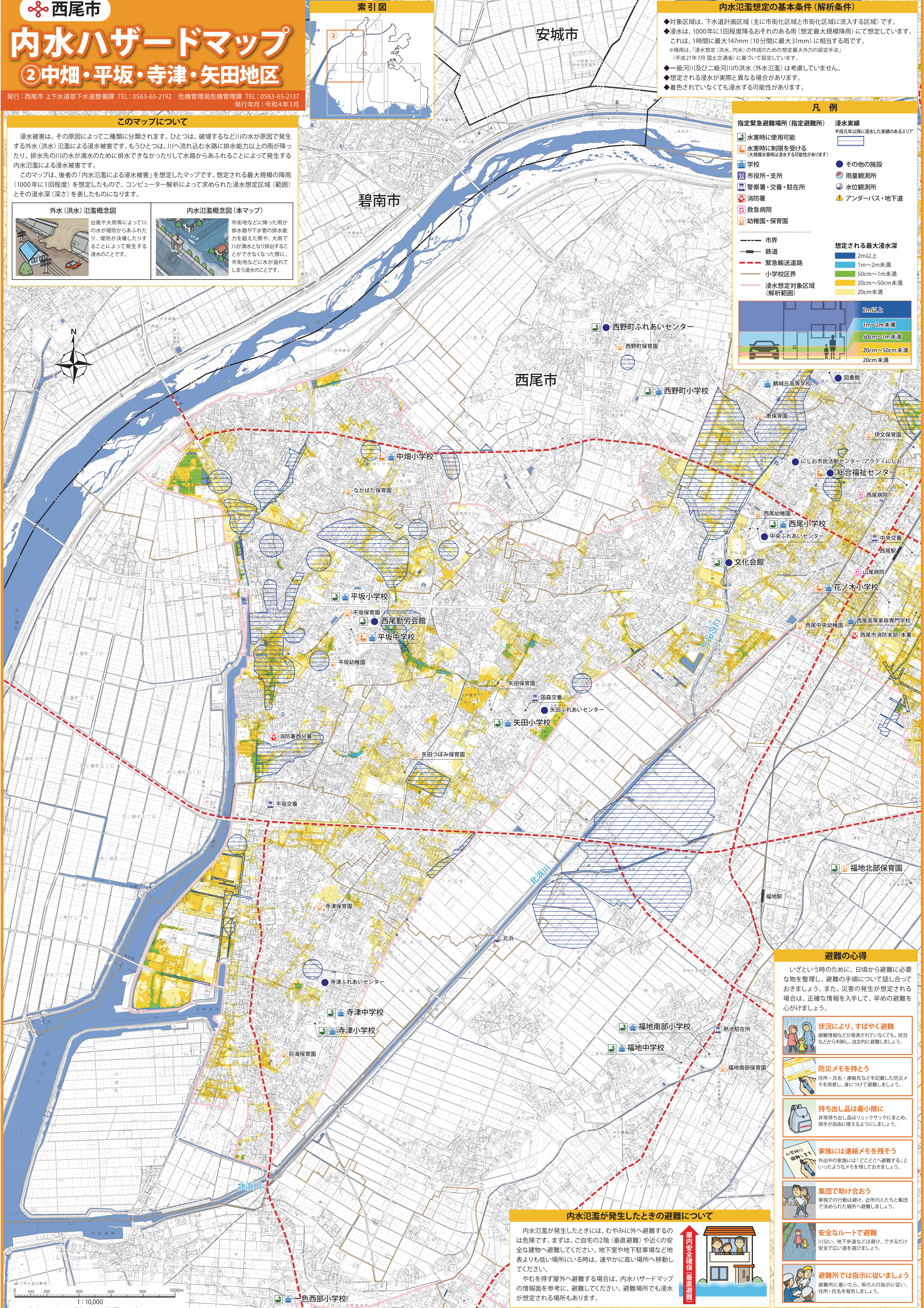
内水氾濫概念図(本マップ)



市街地などに降った雨が排水路や下水管の排水能力を超えた際や、大雨で川が満水となり排出することができなくなった際に、市街地などに水が溢れ、浸水することです。

凡例

指定緊急避難場所(指定避難所)	浸水実績
水害時に使用可能	平成元年以降に浸水した実績のあるエリア
水害時に制限を受ける(大規模水害時は浸水する可能性があります)	
学校	● その他の施設
市役所・支所	● 雨量観測所
警察署・交番・駐在所	● 水位観測所
消防署	▲ アンダーパス・地下道
救急病院	
幼稚園・保育園	
市界	想定される最大浸水深
緊急輸送道路	2m以上
小学校区界	1m~2m未満
浸水想定対象区域(解析範囲)	50cm~1m未満
	20cm~50cm未満
	20cm未満



避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要な物を整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。また、災害の発生が想定される場合は、正確な情報を入力して、早めの避難を心がけましょう。

状況により、すばやく避難
避難情報などが発表されていなくても、状況などから判断し、自主的に避難しましょう。

防災メモを持つ
住所・氏名・連絡先などを記載した防災メモを用意し、身につけて避難しましょう。

持ち出し品は最小限に
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。

家族には連絡メモを残そう
外出中の家族には「どこへ避難する」といったようなメモを残しておきましょう。

集団で助け合おう
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

安全なルートで避難
川沿い、地下歩道などは避け、できるだけ安全で広い道を歩きましょう。

避難所では指示に従いましょう
避難所に着いたら、係りの人の指示に従い、住所・氏名を報告しましょう。

内水氾濫が発生したときの避難について

内水氾濫が発生したときには、むやみに外へ避難するのは危険です。まずは、ご自宅の2階(垂直避難)や近くの安全な建物へ避難してください。地下室や地下駐車場など地表よりも低い場所にいる時は、速やかに高い場所へ移動してください。
やむを得ず屋外へ避難する場合は、内水ハザードマップの情報面を参考に、避難してください。避難場所でも浸水が想定される場所もあります。

